

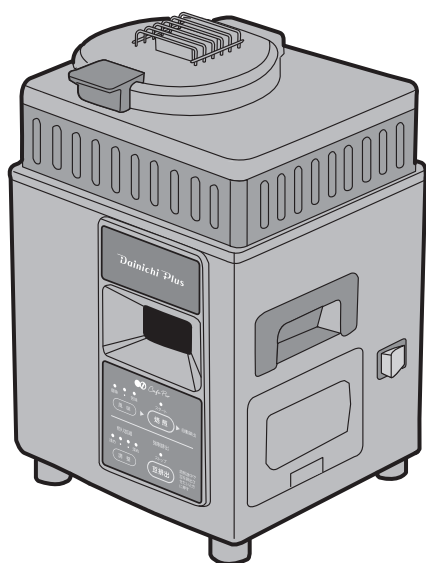
コーヒー豆焙煎機

取扱説明書

エムアール

MR-102

＜保証書付＞裏表紙に付いています



もくじ

安全のために必ずお守りください	1
各部のなまえ	4
使用前の準備	5

ご使用前

焙煎運転するとき	5
----------	---

使用方法

お手入れのしかた	7
定期点検のおすすめ	8
故障・異常の見分けかたと処置のしかた	9
部品のご注文のしかた	9
仕様	10
保証とアフターサービス	10

点検・その他

保証書	裏表紙
-----	-----

この製品は日本国内専用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

■製品アンケートへのご協力をお願いします
ご回答の際、ご購入機種の製造番号やお客様のお名前などの入力が必要です。

<https://www.dainichi-net.co.jp/p-enquete/>

ダイニチ工業 製品アンケート

検索



※通信料などはお客様のご負担となります。

ご購入いただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。



お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。

裏表紙の保証書は、「ご購入日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめください。

安全のために必ずお守りください

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

 	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。	 	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。
 			このマークは、「注意」を促す内容を表しています。

警告 (WARNING)

ご使用前

交流 100V・定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する

他の機器と併用したり、延長コードを使用しないでください。定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



必ず行う



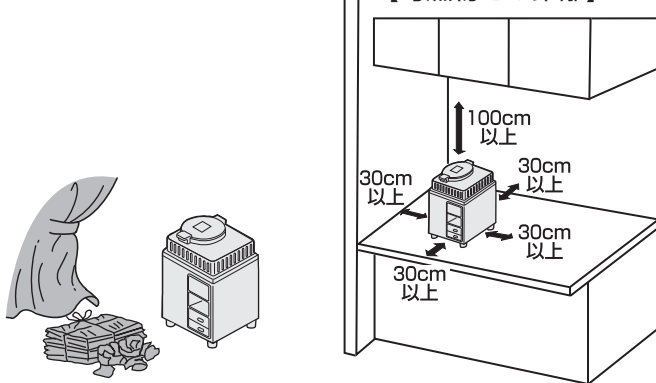
カーテンなど可燃物の近くで使用しない

可燃物の近くでは使用しないでください。火災の原因や周囲の壁・家具などが変色するおそれがあります。可燃物とは下図に示す距離を確保してください。



禁止

【可燃物との距離】



水に浸けたり、水などをかけたりしない

本体を水に浸けたり、水やコーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。水などの液体が本体内部に流れ込むと、故障・漏電・火災の原因になります。水に浸けたり、水などの液体をかけてしまったときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。10p-j



水ぬれ禁止



分解修理・改造の禁止

故障・破損したら、使用しないでください。また、お客様自身による分解・修理・改造はしないでください。感電や故障の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。10p-j



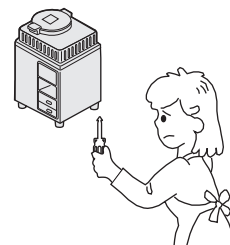
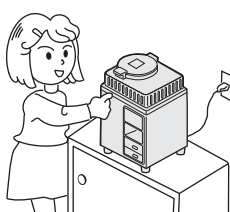
分解禁止

幼児の手の届くところでは使わない

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。やけど・けが・感電の原因になります。



禁止



警告(WARNING)

本体内に異物を入れない

本体内にコインや針金などの異物を入れないでください。
火災・感電・けがの原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

焙煎機の使用以外に使用しない

予想しない事故が発生するおそれがあります。また、焙煎釜に一度焙煎された豆や焙煎を中断した豆、コーヒー豆以外のものを入れて運転しないでください。
火災・やけど・故障の原因になります。



禁止

異常・故障時は運転を停止して電源プラグを抜く

異音・異臭が出るなど異常や故障と思われるときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
火災・感電・けがの原因になります。



プラグを抜く

10ページ

ぬれている生豆や水・液体などを入れて運転しない

火災・感電・やけど・故障の原因になります。



禁止

電源コードを抜いて焙煎運転を停止しない

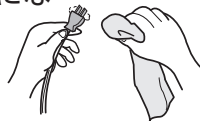
本体や焙煎運転中の豆が冷却されず、火災・やけど・故障の原因になります。



禁止

電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグのほこりなどを除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



必ず行う

電源コードを傷めない

電源コードを傷つけたり、破損、加工、無理に曲げる、引っ張る、重い物をのせる、挟み込むなどしないでください。また、束ねたまま使用したり、本体に巻き付けたり、電源コードがねじれたまま使用したり保管しないでください。
火災や感電の原因になります。



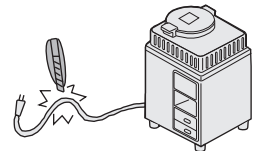
禁止

お手入れするときは、電源プラグを抜く

感電の原因になります。

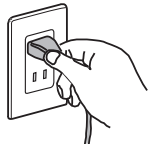


プラグを抜く



電源プラグは確実に差し込む

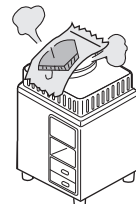
電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災や感電の原因になります。



必ず行う

本体上部に物をのせない

火災・故障・やけど・けがの原因になります。



禁止

安全のために必ずお守りください

⚠️ 注意 (CAUTION)

次の場所では使用しない

火災・やけど・けがの原因になります。

- 水平でない場所、不安定な場所
- 風が当たる場所、部屋の出入り口、屋外
- ほこりが多い場所
- 敷物(毛足の長い敷物、熱に弱いビニールクロスなど)の上
- 水のかかる場所や水気が多い場所
- 直射日光のあたる場所、ガスこんろなどの炎や熱気のアたる場所
- エアコン・暖房機の温風が直接あたる場所



禁止

煙感知器の近くに設置しない

焙煎中の煙で、煙感知器が作動することがありますので、換気扇を回すか、窓を開けて換気をよくしてください。



禁止

規定量の生豆を入れる

1回の焙煎で付属の計量カップに、すりきり2杯(120g)の生豆を入れてください。

焙煎された豆の仕上がりに変化が出たり、火災や故障の原因になります。



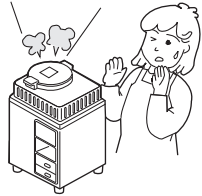
必ず行う

蒸気が出るところには顔を近づけたり手を触れない

やけどのおそれがあります。特に乳幼児には触れさせないようにご注意ください。



高温注意

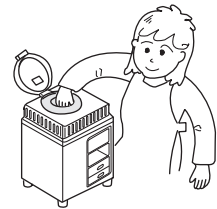


生豆投入口に手を入れない

やけど・けがの原因になります。



禁止



使用中や使用後しばらくの間は本体に手を触れない

焙煎釜や本体上部に手を触れないでください。

高温のため、やけどの原因になります。



高温注意

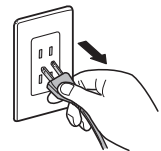


電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く

感電やショートして発火の原因になります。



必ず行う



豆ケース・アンダーケースを取り扱うときは取っ手以外をさわらない

けがをするおそれがあります。



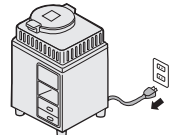
禁止

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

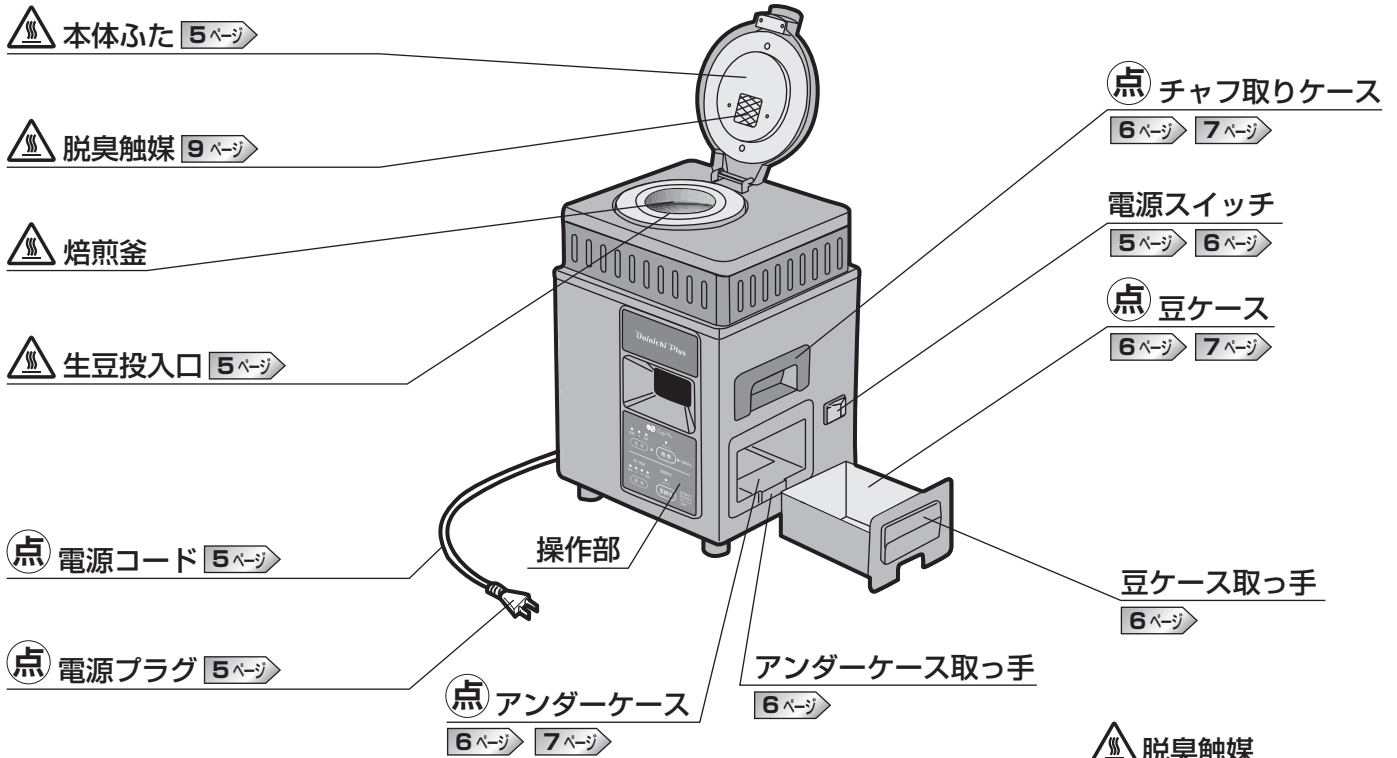


プラグを抜く



各部のなまえ

外観図



△ 運転中高温になる部分(ご注意ください)

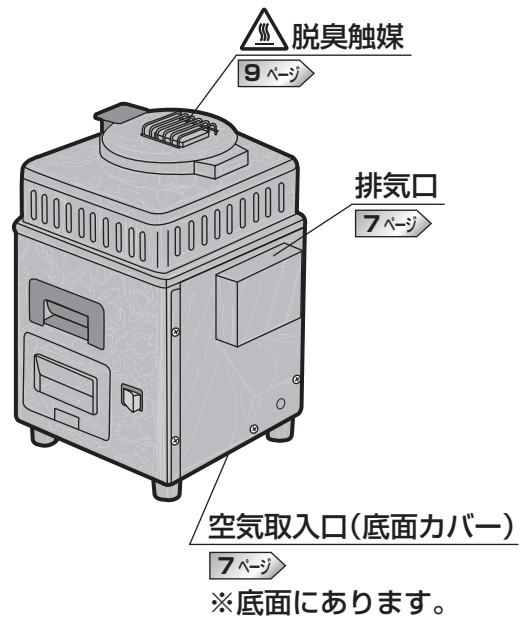
● 点検・手入れが必要な部分

付属品



計量カップ1個
(60g) 5ページ

計量カップは、
豆ケースの中に入っています。



ご使用前

操作部

※操作部はイメージです。

風味ランプ(緑)

5ページ

風味選択ボタン

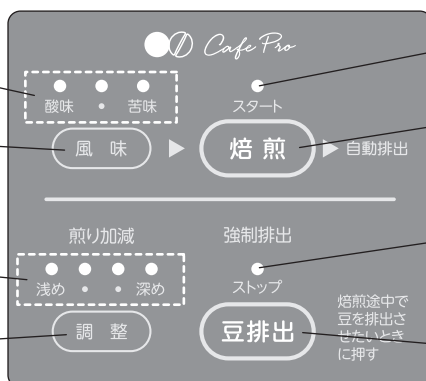
5ページ

煎り加減ランプ(緑)

6ページ

煎り加減調整ボタン

6ページ



焙煎スタートランプ(赤)

6ページ

焙煎ボタン

6ページ

豆排出ストップランプ(赤)

6ページ

豆排出ボタン

6ページ

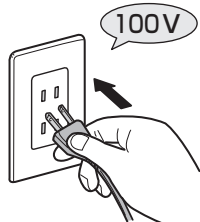
使用前の準備

1 次の場所に設置する

- ガスこんろなどの熱や風の影響を受けない水平で安定した場所に設置してください。
- 本体が囲われない場所に設置してください。
- 毛足の長い敷物やほこりなどが吸気口をふさがないように設置してください。
- 水のかからない場所に設置してください。

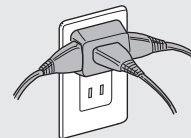
2 豆ケースから計量カップを取り出す

3 電源プラグをコンセント(100V)に確実に差し込む



お守りください

- 家庭用電源(100V)以外では使用しないでください。動作異常や予想しない事故の原因になります。
- 200V 電源には絶対に差し込まないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- 定格 15A 以上のコンセントを単独で使用し、他の機器と併用したり、延長コードを使用しないでください。定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



ご使用前

使用方法

焙煎運転するとき

1 生豆を入れる

- ① 本体ふたを開け、豆が入っていないことを確認する。入っていたときは、掃除機などで吸い取ってください。
- ② 生豆を付属の計量カップにすりきり 2 杯入れる(120g)。

2 杯を超える量の生豆は絶対に入れないでください。故障の原因になります。

【すりきり2杯】



2 電源スイッチを入れる

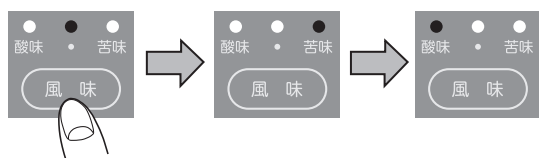
電源スイッチは本体正面に向かって右側にあります。



- 風味ランプ(緑)と煎り加減ランプ(緑)が点灯します。

3 風味選択ボタンを押し、風味加減を選択する

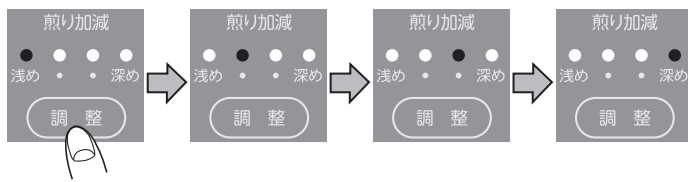
風味選択ボタンを押すごとに風味ランプ(緑)が切り換わります。



- お好みの風味に設定できます。
 - ・ コーヒーの酸味を強くしたいとき… 酸味
 - ・ コーヒーの苦味を強くしたいとき… 苦味
- 選択した風味ランプ(緑)が点灯します。

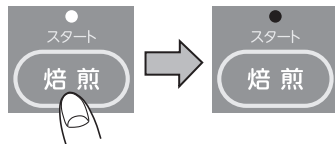
4 煎り加減調整ボタンを押し、煎り加減を選択する

煎り加減調整ボタンを押すごとに煎り加減ランプ(緑)が切り換わります。



- お好みの煎り加減に設定できます。
 - ・ コーヒーの苦味を強くしたいとき … 深め
 - ・ コーヒーの酸味を強くしたいとき … 浅め
- 選択した煎り加減ランプ(緑)が点灯します。

5 焙煎ボタンを押す



- 焙煎スタートランプ(赤)が点灯します。
- 焙煎運転中は、本体ふたを開けないでください。
- パチパチという音や煙がでることがありますが、異常ではありません。

6 約 23 分間で焙煎が終了

焙煎開始から約 15 分後に、豆ケースに焙煎豆が落ちます。 ➡ 焙煎スタートランプ(赤)が消灯
豆排出ストップランプ(赤)が点灯
その後、約 8 分間冷却が行われ、焙煎が終了します。 ➡ 豆排出ストップランプ(赤)が消灯
豆排出ストップランプ(赤)が消灯するまで、豆ケースから焙煎豆を取り出さないでください。

7 豆ケースから焙煎豆を取り出す

豆ケースに生豆の皮(チャフ)が付いているときは、豆ケース取っ手を持ってチャフを捨ててください。

8 チャフ取りケースとアンダーケース内のチャフを捨てる

アンダーケースを取り扱うときは、アンダーケース取っ手を持って行なってください。

9 電源スイッチを切る

連続して焙煎したいとき

- 豆排出ストップランプ(赤)点灯中は次の焙煎はスタートできません。
豆排出ストップランプ(赤)が消灯してから生豆を入れてください。また、生豆を入れたあと、ただちに焙煎を行なってください。
時間をおくと、焙煎釜の余熱により、調整した「煎り加減」と異なることがあります。
- 焙煎のたびに、豆ケースから焙煎豆を取り出してください。

焙煎の途中で豆を排出したいとき

豆排出ボタンを押し、豆を排出してください。

メモ

- 焙煎運転中は、パチパチという音が鳴り、豆が焼ける臭いや煙が出ることがありますが、異常ではありません。臭いが気になる方は、換気をしながらご使用ください。著しく白い煙が出る場合は、ご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 [10ページ](#)

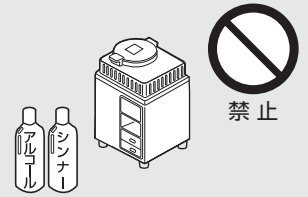
お守りください

- 1 回の焙煎では約 20 杯分(付属の計量カップすりきり 2 杯分)しか焙煎できません。
- 焙煎途中で生豆を追加しないでください。また、焙煎途中で電源スイッチを切らないでください。故障の原因になります。
- 当社指定の生豆以外は使用しないでください。
- 焙煎終了後、焙煎した豆の品種・大きさによっては焙煎釜から完全に排出されず、釜中に数十粒程度残るときがあります。このときは焙煎釜が十分に冷えてから本体ふたを開け、生豆投入口より掃除機などで豆を吸い取ってください。
残ったままにしておくと、次回焙煎時に煎りムラの原因になります。

お手入れのしかた

お守りください

- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、焙煎部が冷えてから行なってください。やけどの原因となります。
- 本体の汚れをふき取るときは、シンナー・アルコール類は使用しないでください。色が変わったり、表面に傷が付いたり割れやすくなります。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいてください。

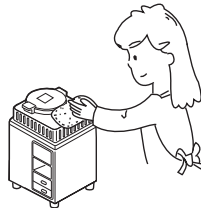


豆ケースに豆が入っていないことを確認してから、手入れを行なってください。

ご使用のたびに

本体

- よく絞ったふきんでふき取ってください。
- 直接水をかけないでください。

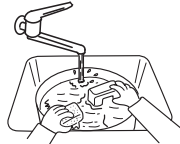


豆ケース・アンダーケース

- 豆ケース・アンダーケースは、ケース内にチャフがこびり付いてきたら、中性洗剤で洗ってください。
- 豆ケース・アンダーケースを手入れするときは、取っ手を持って行なってください。

チャフ取りケース

- チャフ取りケースが白く汚れてきたら、水洗いしてください。

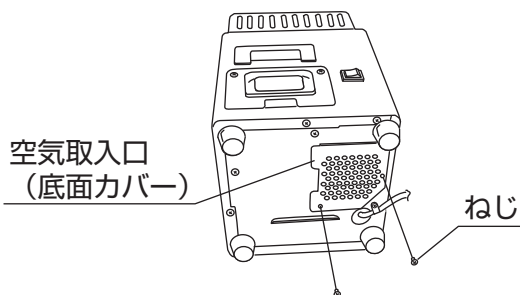
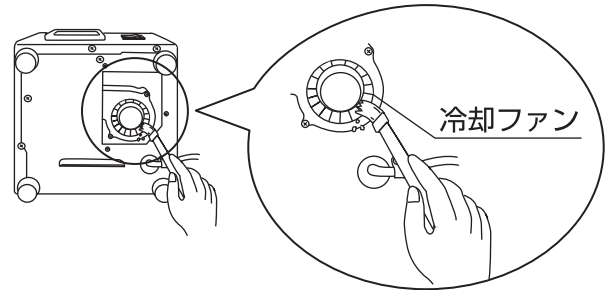


冷却ファン

- 焙煎豆の冷却が終わっても、豆ケースから煙が立ち上がる時や焙煎豆の冷えが悪くなったと感じたときは、冷却ファンの手入れを行なってください。

1 本体正面に向かって、本体を左側に倒す **3** 冷却ファンを小さなハケなどで掃除する

2 底面カバー取り付けねじ2本を外し、底面カバーを外す



4 底面カバーを外したときと逆の順序で取り付け

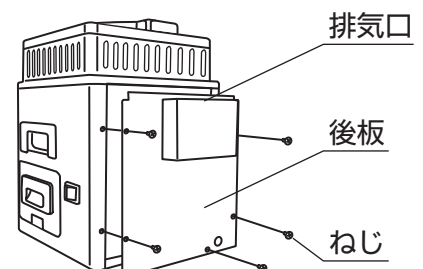
点検・その他

排気ファン・本体内部

- 排気ファンの羽根が白くなり、目詰まりしてきたら、排気ファンと本体内部の手入れを行なってください。排気口から排気ファンの羽根が見えます。

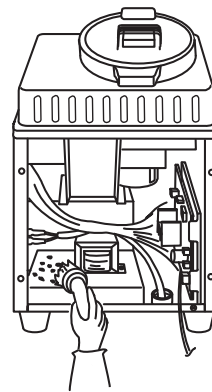
※長期間使用すると、本体内部に白っぽい粉状のものや油汚れが付着することがあります。

1 後板取り付けねじ5本を外し、後板を外す

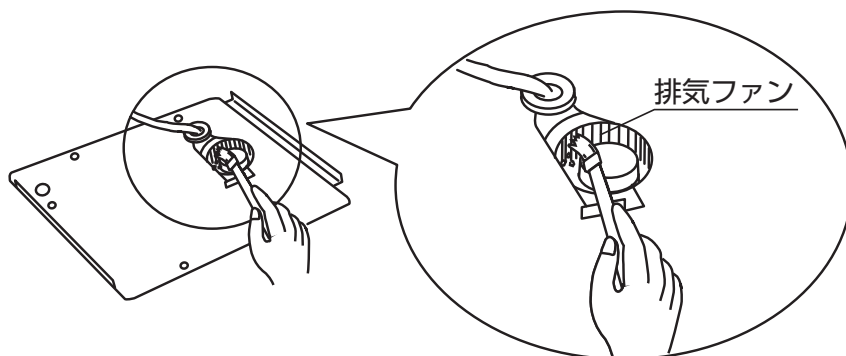


2 本体内部のチャフを掃除機で吸い取る

- 電源プラグは確実にコンセントから抜いてください。
- 掃除機の先端は、金属でないものを使用してください。
- リード線やその他の部品に無理な力は、かけないでください。



3 排気ファンを小さなハケなどで掃除する



排気ファン付近の後板に汚れなどが付着しているとき

- 中性洗剤をしみ込ませた布などで、排気ファン付近の汚れをふき取ってください。



4 後板を外したときと逆の順序で取り付ける

定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。お買い上げの販売店などに点検依頼(有料)をおすすめします。

愛情点検

長年ご使用のコーヒー豆焙煎機の点検を！



こんな
症状は
ありま
せんか

- ・ 本体が異常に熱かったり、焦げくさいニオイがする。
- ・ 運転中に異常な音がる。
- ・ 電源コードに傷がついていたり、触れると通電したり、しなかったりする。
- ・ その他の異常や故障がある。

ご使用
中 止

事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

故障・異常の見分けかたと処置のしかた

修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

症状	原因	処置方法
電源が入らない	電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに確実に差し込む。 5ページ
脱臭触媒が赤熱している	脱臭触媒が詰まり気味で、特に深めに焙煎したときに起こることがあります。そのまま使用を続けると、ほこりなどに発火して火災のおそれがあります。	すぐに電源スイッチを切り、機器および焙煎中の豆が冷えてから本体ふたを開け、掃除機などで吸い取ってください。その後、生豆を入れずに焙煎運転(空焼き運転)を行なってください。 5ページ
焙煎状態がばらつく	規程量の生豆を入れていない。また、生豆の種類・含水量および生豆を入れた時の焙煎釜温度によって焙煎状態がばらつきます。	規程量の生豆(付属の計量カップにすりきり2杯)の生豆を入れる。一度焙煎運転を停止し、焙煎釜が温まっている状態で再度焙煎を行うと焙煎状態が安定します。 5ページ
焙煎時、「パチパチ」と音がする	豆が焼ける音です。	臭いや煙が出ることがありますが、異常ではありません。

このようなときは故障ではありません。適切な処置を行なってください。

症状	原因	処置方法
焙煎釜に豆が残っている	焙煎中に停電した 焙煎中に電源スイッチを切った	焙煎ボタンを押した後、すぐに豆排出ボタンを押し、豆を排出する。 6ページ
焙煎状態が深すぎる	生豆投入量が少ない	規定量の生豆を投入する。 5ページ
焙煎状態が浅すぎる	生豆投入量が多い	

異常の原因と処置のしかた

何らかの異常で表のようなエラー表示や症状が現れたときは、適切な処置を行なってください。

表示部(エラー表示)	原因(安全装置)	処置方法
ランプ点滅(緑)	一時停電した、または電源プラグが抜けてかかっているため、自動停止した。(停電安全装置が作動)	電源プラグをコンセントに確実に差し込み、焙煎ボタンを押したあと、すぐに豆排出ボタンを押し、豆を排出する。 6ページ
ランプ点滅(緑)	規定量より多い生豆を入れている。	電源スイッチを切り、風味ボタンを押しながら、電源スイッチを入れる。焙煎ボタンを押してから、豆排出ボタンを押し、豆を排出する。通常が表示に戻ったら規定量の生豆を入れ、再度焙煎してください。 5ページ 6ページ
	点検・修理が必要な故障です。	規定量の生豆を入れても再度エラー表示が現れたときはご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。 10ページ
上記以外のランプ点滅 ランプが点灯しない	点検・修理が必要な故障です。	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。 10ページ

処置を行っても直らないとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。 [10ページ](#)
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

部品のご注文のしかた

次の別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。その際は、型名・部品名をはっきりとお伝えください。また、弊社ホームページの「ダイニチ WebShop」でもご注文ができます。

<https://webshop.dainichi-net.co.jp/>

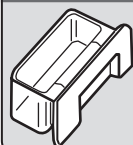
ダイニチWebShop

検索



※通信料などはおお客様のご負担となります。

別売部品



チャフ取りケース
1,320円
(本体価格 1,200円)



計量カップ
1,100円
(本体価格 1,000円)

この部品は本コーヒー豆焙煎機用です。他の機器では使用しないでください。また、価格は予告なく変更することがあります。その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

型名	MR-102	
外形寸法(高さ×幅×奥行)	375 mm × 250 mm × 265 mm	
質量	約 7.0 kg	
コード長さ	2.0 m	
定格電圧	AC100 V	
定格周波数	50/60 Hz	
焙煎運転	定格消費電力	595/595 W
	生豆投入量	120 g
安全装置	停電安全装置	
付属品	計量カップ(60g用)	

保証とアフターサービス

使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談・別売部品の購入などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証について

◆保証書(裏表紙に付いています) 裏表紙

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。
- 内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

◆保証期間

保証期間は、お買い上げ日から本体 1 年間です。なお、消耗部品(触媒セット・触媒ヒーター・焙煎プレート・排気ファン・冷却ファン・カクハンスプリング)の取り替えは、保証期間中でも有料となります。他にも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 本コーヒー豆焙煎機の補修用性能部品は、製造打ち切り後 9 年保有しています。

修理を依頼されるときは

- 「故障・異常の見分けかたと処置のしかた」に従ってお調べください。 9 ページ
- 処置を行っても直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。その際は、右の事項をご連絡ください。

品名	名：コーヒー豆焙煎機
型名	名：本体側面に表示
お買い上げ日	保証書に記載
症状	状：エラー表示など、できるだけ詳しく

◆保証期間中

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

◆保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

◆修理料金

技術料+部品代などで構成されています。

保証とアフターサービス



ご相談窓口(使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談など)

お客様ご相談窓口(通話料無料)

携帯電話、スマートフォンからお問い合わせいただけます。

TEL 0120-468-110

FAX 0120-468-220

<受付時間>

9:00~12:00 / 13:00~17:00(土曜・日曜・祝日は除く)

※型名(本体側面に表示)をご確認のうえ、ご連絡ください。

インターネットからのお問い合わせ

■パソコン・タブレット・スマートフォンからアクセス

<https://www.dainichi-net.co.jp/support/>

ダイニチ工業 お客様サポート 検索



※通信料などはお客様のご負担となります。

ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- ダイニチ工業株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - 修理やその確認業務を委託する場合
 - 法令の定める規定に基づく場合
- 個人情報に関しては、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。

コーヒー豆焙煎機保証書

型名	MR-102	製造番号	
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒	
	電話番号	見本	
	お買い上げ日	販売店名	住所・電話番号
	年 月 日		
	保証期間(お買い上げ日から)		
	本体 1 年間		

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から左記期間中故障が発生したときは、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様へお願い

お手数ですが、お名前・ご住所・電話番号をわかりやすくご記入ください。販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

ご販売店様へ

お買い上げ日・製造番号・貴店名・住所・電話番号を必ず記入し(記入のないときは無効になります)、本書をお客様へお渡しください。

<無料修理規定>

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障したときは、お買い上げの販売店が無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受けるときは、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に依頼してください。
- ご転居のときは、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときは、弊社にご相談ください。
- 保証期間内でも次のときは、有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理・改造による故障や損傷
 - お買い上げ後の移動・落下などによる本体の故障や損傷、使用状況などによる変形、変色
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)などによる故障や損傷
 - 異常電圧、指定外の電源(電圧・周波数)、水、ほこりなどによる故障や損傷
 - 消耗部品(触媒セット・触媒ヒーター・焙煎プレート・排気ファン・冷却ファン・カクハンスプリング)の取り替え
 - 点検の費用
 - 本書の提示がないとき
 - 本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入のないとき、あるいは字句を書き替えられたとき。通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がないとき
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または弊社にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書(10ページ)をご覧ください。

ダイニチ工業株式会社

〒950-1295 新潟市南区北田中780-6

お客様ご相談窓口TEL 0120-468-110

ホームページ <https://www.dainichi-net.co.jp/>

